



ベルテクスコーポレーション

5290・スタンダード

コンクリート二次製品上位メーカー  
防災関連強みに営業利益率14%

ベルテクスコーポレーションは「安心のカチチを作る。」をキーワードに、社会インフラを支えるコンクリート二次製品を設計・製造からメンテナンスまで一貫通貫で提供する。特に、水害や土砂災害対策向けの高付加価値製品が強い。今後は災害対策と増加するメンテナンス需要を背景に、独自の製品群で安定的な成長を目指す。



土屋明秀社長

プロフィール●つちや・あきひで  
1962年1月生まれ、静岡県出身。同志社大学商学部卒業。84年スズキ入社。2005年日本ゼニスパイプに入社、営業推進部長。11年取締役常務執行役員営業本部長兼東京支店長。13年ゼニス羽田ホールディングス取締役。17年代表取締役社長（現任）。18年ベルテクスコーポレーション代表取締役社長に就任（現任）。

雨水貯留槽から防衛関連まで提案モデルで価格競争回避

同社が製造・販売するのは「コンクリート二次製品」。コンクリート二次製品とは、あらかじめ工場で成形して現場に搬入するコンクリート製品のこと。「プレキャストコンクリート」とも呼ばれ、現場での生コンクリート打ちが不要で工期を大幅に短縮できる。人手不足が進む中、世界的にもコンクリート二次製品

ラインが発刊されたが、同社もその策定に携わったという。

同業4社が水平統合  
高付加価値製品に資源集中

同社はコンクリート二次製品を扱う4社の水平統合で生まれた。11年に「ハネックス」と「日本ゼニスパイプ」、続いて12年に「羽田コンクリート工業」が統合してゼニス羽田が発足。新たに持株会社であるゼニス羽田ホールディングスが誕生した。18年には「ホクコン」が参加して、新たな持株会社ベルテクスコーポレーションを設立。この背景には国内の下水道整備が一段落し、自治体の予算



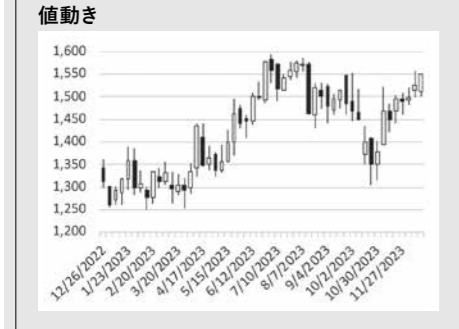
▲高落差対応組立マンホール「スパイラルホール」

24年3月期ROE10%以上  
ベトナムでの展開も視野に

【ベルテクスコーポレーション】  
株式データ

コード	5290	市場	東証スタンダード
直近株価	1,575円	(23.12/25終値)	
昨年来高値	1,608円	(23.12/21)	
昨年来安値	1,250円	(23.2/16)	
時価総額	481億円		
PER	9.6倍	配当利回り	2.54%
PBR	1.28倍	決算	3月

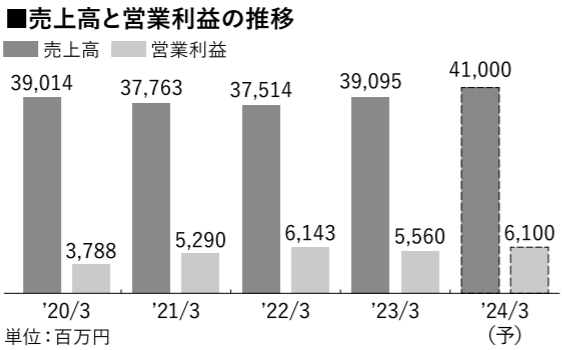
2023年3月期 連結業績			前期比
売上高	390億9,500万円		4.2%増
営業利益	55億6,000万円		9.5%減
経常利益	58億3,700万円		9.3%減
当期純利益	37億4,200万円		11.8%減
2024年3月期 連結業績予想			前期比
売上高	410億円		4.9%増
営業利益	61億円		9.7%増
経常利益	63億円		7.9%増
当期純利益	42億円		12.2%増



が急激に減った流れがある。「14年に統合した3社は、11年時点ではみな基本的に損益ゼロかマイナス。しかしそれぞれの潜在能力は大きいと思った。私は日本ゼニスの出身ですが、いろいろなシミュレーションを通して『一緒になれば間違いなくシナジーが起こり、儲かる会社になる』と夢を語ってきました」（同氏）

「18年にホクコンと統合する時は、全社に『売上を下げろぞ』と宣言したんです。そして不採算製品や汎用品の売上は下げて、各社の技術を活かした付加価値の高い製品に販売をシフトしました。得た利益は、さらに製品の付加価値を上げることに振り向けてきました」（同氏）

「高付加価値製品はもちろん、汎用品であっても二番煎じでなく、当社でしかできないものを作っていきます」（同氏）



となる24年3月期までに、営業利益61億円、ROE10%以上の維持を目標としている。

「高付加価値製品はもちろん、汎用品であっても二番煎じでなく、当社でしかできないものを作っていきます」（同氏）

「東南アジアには大きな需要があるが、従来と同じことをやっても中国や韓国に資本力で負ける。当社でしか展開できない製品がたくさんあるので、その中からベトナムに入れられるものを見つけたい」（同氏）

自己株買いにより、総還元性向30%をめどにして実施する方針だ。24年3月期通期では、前期実績より10円増の1株40円を予定している。

「当社でしか実現できない複雑な製品や施工を、事業の発注者である自治体に直接提案していく。製品が採用されれば施工も行います。汎用品ではなく発注者採用の指定製品ですから、プロジェクト全体の工事を請け負うゼネコンに対しては、価格交渉力が強いのが特徴です」（土屋明秀社長）

また、同社は従来から防衛関連事業に深く携わってきた。最近では、同社が所属する研究会が提案したプレキャ

■主なコンクリート二次製品、パイルコンクリート企業

社名(コード・市場)	時価総額	今期予想(前期比)		前期営業利益率	株価
		売上高	営業利益		
日本ヒューム(5262・東P)	253億円	323億円(1.3%増)	13億円(5.2%増)	3.88	863円
旭コンクリート工業(5268・東S)	95.7億円	67億円(1.8%増)	4億円(15.9%増)	5.24	723円
日本コンクリート工業(5269・東P)	181億円	550億円(3.8%増)	13億円(黒転)	-0.43	314円
ヤマウHD(5284・東S)	109億円	200億円(8.1%増)	21.2億円(6.2%増)	10.79	1,733円
ヤマックス(5285・東S)	128億円	203億円(12.6%増)	15億円(80.1%増)	4.62	1,105円
アジアパイルHD(5288・東P)	260億円	1,050億円(4.8%減)	50億円(20.4%減)	5.70	683円
ベルテクスコーポレーション(5290・東S)	466億円	410億円(4.9%増)	61億円(9.7%増)	14.22	1,525円

12/15時点